

選択領域 8月8日(木) その1

☆主な受講対象者 幼:幼稚園教諭、小:小学校教諭、中:中学校教諭、高:高等学校教諭、特:特別支援学校教諭、養:全校園種の養護教諭

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
D-1	特別支援教育Ⅱ	6時間	教諭・養護教諭	幼・小・中・高・特・養	180名
<p>テーマ：障害のある子どもたちを理解するー現場の実践例を通してー</p> <p>講師：重森 恵津子(びわこ学院大学)</p> <p>障害のある子どもの教育は特殊教育から特別支援教育へと移行し、特別な支援を必要とする子どもが在籍するすべての学校において実施されることとなった。本講習では、特別支援教育の現状と課題を明らかにするとともに、教育現場における実践例を通して、幼・小・中・高・特別支援学校の教員すべてが特別支援教育の眞の担い手となるためにどうあるべきかを考えていきたい。</p>					
<p>テーマ：障害のある子どもたちを理解するー気づかれにくい視点を通してー</p> <p>講師：川島 民子</p> <p>発達障害を含む特別な支援を必要とする子どもたちが見せるつまずきの背景として、これまでは気づかれにくかった「感覚」との関連に注目が集まっている。本講座では、「感覚」に関する基礎的な知識を広げた上で、様々なつまずきの姿を知るとともに、その指導支援について考えていきたい。そして、「感覚」の視点からの子ども理解を深めていきたい。</p>					

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
D-2	子どもに安全で易しい 体育的活動を提供する	6時間	教諭	幼・小・中・高・特	50名
<p>テーマ：保健における「主体的・対話的で深い学び」を考える</p> <p>講師：川合 英之(びわこ成蹊スポーツ大学)</p> <p>今回改訂の教育要領、学習指導要領においては、知識の理解の質を高め、資質・能力を育む「主体的・対話的で深い学び」の実践が大きなポイントとなっています。これらの「学び」の背景を考えながら、保健の学習においては、どのように授業を進めていけば良いのかを考えます。</p>					
<p>テーマ：運動遊びと体づくり運動から考える、易しい体育的活動とその指導</p> <p>講師：大西 祐司(びわこ成蹊スポーツ大学)</p> <p>運動する子どもとそうでない子どもの二極化傾向は、豊かなスポーツライフの実現に向けて園や学校種を越えて考えていかなければならない問題です。本講習では、新しい教育要領と学習指導要領に基づき、運動が苦手な子の視点に立った教材や指導方法を紹介します。具体的には、運動遊びと体づくり運動を扱います。 ※当日は、講義形式と実技形式の講習を実施します。</p>					

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
D-3	データサイエンス入門・ コンピュータを使ったデータ処理	6時間	教諭	小	50名
<p>講師：梅津 高朗(データサイエンス学部)</p> <p>近年、情報通信(特にインターネット)の発達に伴って増大したビッグデータの利活用が注目され、メディア等でも統計学やデータサイエンスが取り上げられるようになってきました。こうした時代の要請により、学校教育においても、データの利活用能力がより着目されるようになってきました。そこで、本講習では、データサイエンスの入門的な内容について知ることを目的に講義します。まず、本データサイエンス学部の教材を使い、データサイエンスに関する基礎的な事項について、補足を入れながら紹介します。その後、ExcelやPython言語を使ったデータの処理における入門的な内容について、事例を交えて紹介します。当日は、簡単な演習も行う予定です。</p>					

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
D-4	入門アート ー障害をもつ人達の表現からー	6時間	教諭	幼・小・中・高・特	50名
<p>講師：藤田 昌宏</p> <p>鑑賞教育や造形遊びの提唱は、本来ならモノづくりとして不可分だったはずのアートから、作品主義の中で置き去りにされた伝わる事の面白さや表現する事の喜びの部分を抽出して、その重要性を示したかのように思われます。本講習では、アウトサイダーアートの先駆けとなった地元滋賀県下の種々の取り組みを始めとして、千葉盲学校や京都のみずのき寮、近江八幡のNO-MAなどにも触れ、障害をもつ人達の表現からアートが本来もっているそれらの原初的なはたらきについて考えます。</p>					

選択領域 8月8日(木) その2

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
D-5	今につながる昔の言葉	6時間	教諭	小・中・高	30名
<p>テーマ：方言を考える</p> <p style="text-align: right;">講師：松丸 真大</p> <p>日本の国語教育では、ことばそのものについて意識化することが少なく、ことばを使って活動することに重点がおかれています。この講習では、もっとも身近な話し言葉である方言をとりあげ、そのしくみや変化について考えていきます。講習の前半は方言からたどれる日本語の変遷について簡単に説明し、後半で滋賀県方言を例にしてその変化について考えてみたいと思います。</p>					
<p>テーマ：『論語』にしたしむ</p> <p style="text-align: right;">講師：二宮 美那子</p> <p>小・中・高の国語教育を通してよく取り上げられる『論語』は、もとは外国のものでありながら、今や日本人の古典として広く受け入れられているといえます。本講習では、この『論語』のことばを読み解き、その書物としての魅力を探ります。また、同時代に活躍した思想家たちの言葉と比較したり、現代の『論語』にまつわる書物を紹介することで、昔と今の『論語』のあり方を、多様な角度から探ります。</p>					

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
D-6	外国語へのいざない	6時間	教諭	小	30名
<p>テーマ：言語学への招待</p> <p style="text-align: right;">講師：板東 美智子</p> <p>現代言語学の生成文法理論の入門です。英語という言語の基本的な構造を知っておくために有益な言語学の知見を紹介いたします。トピックとして、(1) 動詞意味論：動詞が構文を決定する。(2) 統語論：(2.1) 言語共通の構造、(2.2) 二種類の自動詞、(2.3) 移動：能動態と受動態、(2.4) 移動：Wh 疑問文、(2.5) 移動：その他、を予定しています。</p>					
<p>テーマ：初等英語教育</p> <p style="text-align: right;">講師：田中 佑美</p> <p>以下の話題について講義を進めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小学校の英語教育を中心に、小・中・高を通じてのコミュニケーション能力の育成、学習指導要領、そしてCAN-DO List のこと 2. 最近の英語教育・第2言語習得の研究成果から 3. 動機づけ 4. 英語学習の課題 					

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
D-7	社会科の授業づくりの理論と実践	6時間	教諭	小	30名
<p>テーマ：探究としての社会科授業づくりの理論と方法</p> <p style="text-align: right;">講師：原田 智仁</p> <p>社会科の授業づくりには教師の社会科観や学習観等の違いによりいくつかの方法があるが、子どもの主体的、対話的で深い学びを生むのに最適な方法は、「探究としての授業づくり」だと言ってよい。そこで本講習では、探究としての授業づくりの理論を説明するとともに、探究としての社会科の学習過程や課題（問い）の設定の仕方について講義する。また、探究としての社会科授業の具体事例を各学年ごとに紹介し、それぞれの意義と特質について考察する。</p>					
<p>テーマ：身近な地域の授業づくりの実践</p> <p style="text-align: right;">講師：松田 隆典</p> <p>小学校社会科3年生の学校周辺の「身近な地域」の学習において、子どもといっしょに地域探検をしながら手作りの地図を作ることの効用は大きい。本講座は、受講生とともに大学周辺を歩いて、授業で用いるメンタルマップ（概念図）の作成の方法的基礎について説明する。大学周辺のメンタルマップのデッサンを講座内でおこない、のちに各学校周辺地域の探検と実用的な地図教材の作成ができるようにする。</p>					

選択領域 8月8日(木) その3

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
D-8	中高教員のための理系講座 －物理領域とアクティブラーニング－	6時間	教諭	中・高	30名
<p>テーマ：原子の世界から考える物理</p> <p style="text-align: right;">講師：恒川 雅典</p> <p>物理領域における原子や電子のような微視的世界と巨視的世界のつながりをテーマとした講習です。小中高における理科の相互の学習内容のつながりを意識しながら、キッチンなどの身近な場所で体験することができるような具体的な事例や、光を利用した様々な実験を紹介します。実際に実験も行います。物理の先端研究とのつながりについてもお話しします。</p>					
<p>テーマ：アクティブラーニング:理科の見方・考え方</p> <p style="text-align: right;">講師：加納 圭</p> <p>次期学習指導要領においては、知識・技能だけでなく資質・能力（たとえば理科の見方・考え方）などをも身につけるために、主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）を求めている。アクティブラーニングは「教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称」とされる。本講座では、理科の見方・考え方が身につくアクティブラーニング型授業の開発実施方法を取り扱います。</p>					

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
D-9	保育者の資質向上 －幼児理解と環境の工夫－	6時間	教諭	幼	50名
<p style="text-align: right;">講師：塩見 弘子(附属幼稚園副園長)</p> <p>1. 幼児理解の力量を高める</p> <p>保育者の資質向上には幼児理解の力量を高めることが不可欠です。教育要領の改訂に伴って、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が示されました。保育現場での何気ない幼児の姿からも10項目の視点で読み取ることが出来ます。そのことを今後の保育にどう生かしていくのか、保護者や小学校の先生の理解につながる伝え方等を具体的に考えていきましょう。</p>					
<p>2. 主体的な遊びを充実させていくための環境</p> <p>今回の教育要領の改訂においても「環境を通して行う教育」を基本とすることは変わらないと示されています。幼児の主体的な遊びを充実させていくためには、環境が重要になってきます。年齢や個々の興味や発達に応じてどのように環境を工夫していくか、今後の参考になるように、実際の遊びの中での事例をもとに教材について、具体的に考えていきましょう。</p>					

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
D-10	豊かな感性を育む －音楽と絵本－	6時間	教諭	幼	50名
<p>テーマ：子どもの豊かな感性と表現を育む音楽表現について</p> <p style="text-align: right;">講師：松井 典子(滋賀短期大学)</p> <p>「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」が示され、「豊かな感性と表現」を育成することの重要性が明確化されました。音、ことば、リズムによる表現を総合的に捉え、豊かな感性と創造性に深く関わる幼児期の「音感受」や音楽表現の特性について考えます。この講習では、音を聞いたり、考えたり、作ったりするワークを取り入れ、音を介した多様な表現方法を探究します。その中で、子どもの表現を支え、表現の育ちをつなぐ保育者の役割について考察します。</p>					
<p>テーマ：絵本の教材研究と読み聞かせの方法について</p> <p style="text-align: right;">講師：浜崎 由紀(滋賀短期大学)</p> <p>幼児教育・保育における絵本の読み聞かせは、保育者からの一方向的指導によって成り立つものではありません。幼児の発達を踏まえ、主体的で対話的な深い学びを実現する絵本の読み聞かせについて考えます。そのための教材研究を行い、保育場面に応じた絵本の読み聞かせの方法について考察します。受講者の方は、幼児に読みたい絵本を一冊お持ちください。</p>					